

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1291 号	氏名	徳久 美都子
学位審査委員		主 査	伊藤 公成
		副 査	朝比奈 泉
		副 査	吉村 篤利
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究はRab44のマウスの組織における発現分布および細胞分化や薬物刺激に伴った発現量の変化を解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 組織はマウス (C57BL/6) 8 週齢から採取し、骨髄細胞はマウス脛骨、大腿骨より骨髄を採取し使用している。初代培養としてマウス由来骨髄細胞を用い、マクロファージへの分化には M-CSF を、樹状細胞への分化には GM-CSF を用いている。好中球は 4%チオグリコレートをマウスの腹腔内に注射し、14 時間後に回収、2 時間インキュベーションし、非接着細胞を好中球として使用している。細胞株培養では THP-1 細胞 (ヒト単球由来細胞株) を用い、マクロファージ分化のため PMA で刺激している。さらに解析方法として、定量性 real-time PCR (QPCR) 法、Western blot 法、免疫組織化学染色法、蛍光免疫染色法を行っている。このように一連の研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、Rab44 はマウス骨髄で高値に発現しており、骨髄細胞、骨髄マクロファージにおいて免疫調整薬の使用によって発現量が変わるといふ新たな知見を得、今後の分子生物学的な進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は免疫関連細胞での Rab44 の分布や発現に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (歯学) の学位に値するものと判断した。</p>			